

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 豊田通商株式会社

上場取引所 東名

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清水 順三

問合せ先責任者 (役職名) 経理企画部長 (氏名) 塩崎 泰司

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 052-584-5482  
平成21年11月26日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,279,694	△41.4	20,145	△73.4	24,455	△71.8	9,646	△78.8
21年3月期第2四半期	3,889,427	—	75,744	—	86,701	—	45,492	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	27.54	—
21年3月期第2四半期	129.65	129.61

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	2,070,474	617,696	27.0	1,596.81
21年3月期	2,130,089	586,996	24.9	1,515.64

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 558,931百万円 21年3月期 530,919百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	18.00	—	8.00	26.00
22年3月期	—	8.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000,000	△20.5	51,000	△44.0	54,000	△45.1	23,000	△42.8	65.71

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	354,056,516株	21年3月期	354,056,516株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	4,026,501株	21年3月期	3,762,239株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	350,226,552株	21年3月期第2四半期	350,873,304株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)平成22年3月期第2四半期(3か月)の連結業績  
 (平成21年7月1日～平成21年9月30日)

連結経営成績(3か月)

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,224,506	△37.6	12,696	△68.0	15,007	△66.6	6,978	△73.8
21年3月期第2四半期	1,961,250	—	39,625	—	44,920	—	26,628	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	19	93		—
21年3月期第2四半期	75	92	75	92

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における世界経済は、各国の財政・金融政策により最悪期を脱し、中でも中国経済は内需を中心に回復傾向を示しました。しかしながら、欧米では厳しい経営環境が続き、全体的には世界経済の回復は緩慢なものにとどまりました。わが国経済も、内外の景気対策による輸出や生産の回復で持ち直し傾向がみられましたが、雇用・設備投資の調整圧力が強く、景気回復は実感の乏しいものとなりました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第2四半期連結会計期間の売上高は前年同四半期連結会計期間を7,367億円（37.6%）下回る1兆2,245億円となりました。

これを事業本部別に見ますと以下の通りであります。

金属本部は、鉄鋼分野では今年度に入り自動車メーカーの在庫調整が進み、需要が増加したため緩やかに回復しました。非鉄金属分野では、ベトナムにおいて政府系企業と共同で鉱山開発の準備をするなど引き続き世界各国でレアアースを中心に資源確保に努めました。鉄鋼原料分野では、昨秋から低迷が続いていた市況も上昇し始め、徐々に回復の兆しが見えました。しかしながら、自動車メーカーの減産等の影響により、売上高は前年同四半期連結会計期間を2,538億円（40.0%）下回る3,806億円となりました。

機械・エレクトロニクス本部は、機械分野では、今後の伸長分野であるハイブリッド・電気自動車市場への取り組みを強化するため、専門組織を立ち上げました。情報・電子分野では、ハイブリッド車向け電子部品が堅調に推移しました。自動車生産用部品分野では、部品販売が中国市場向けを中心に回復基調となりました。しかしながら、自動車メーカーの減産及び設備投資の減少等の影響により、売上高は前年同四半期連結会計期間を1,176億円（29.9%）下回る2,752億円となりました。

自動車本部は、既存販売拠点の顧客対応やサービスなどの経営品質の強化・改善に努めると共に、拠点及び設備の拡充を推進しました。しかしながら、ロシア・アフリカなど資源・新興国における自動車販売の低迷が続く、売上高は前年同四半期連結会計期間を1,194億円（45.6%）下回る1,426億円となりました。

エネルギー・化学品本部は、化学品合成樹脂分野では、大型リチウムイオン電池の開発・生産を手掛けるベンチャー企業に出資、太陽光発電等再生可能エネルギー普及のコアとなる事業へ参入しました。エネルギー・プラント分野では、長期安定収益が見込める海外発電事業強化の一環として、中部電力㈱と共同で、天然ガスを利用した火力発電事業であるカナダ・ゴアウェイ発電プロジェクトに参画しました。しかしながら、市況の下落等により、売上高は前年同四半期連結会計期間を2,000億円（43.8%）下回る2,568億円となりました。

食料本部は、穀物分野では、海外市場の開拓を図るべく、中国への大豆の三国間取引及び中国からの大豆粕輸入について新規に成約しました。食品分野では、安心・安全な国産野菜の需要に応えるべく、2ヶ所目の野菜の国内生産施設の建設に着手しました。しかしながら、市況の下落等の影響を受け、売上高は前年同四半期連結会計期間を173億円（18.0%）下回る783億円となりました。

生活産業・資材本部は、繊維製品分野では、当社で初めての参入となる海外アパレル小売会社「JFT Holdings Limited」の旗艦店を香港にオープンしました。自動車資材分野では、高級車種向けの内装材商内は、依然厳しい状況が続きました。また、不動産関連ビジネスも引き続き厳しい状況が続いたため、売上高は前年同四半期連結会計期間を179億円（20.9%）下回る678億円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上高の減少等により126億96百万円となり、前年同四半期連結会計期間（396億25百万円）を269億29百万円（68.0%）下回りました。経常利益は150億7百万円となり、前年同四半期連結会計期間（449億20百万円）を299億13百万円（66.6%）下回りました。その結果、税引後の四半期純利益は、前年同四半期連結会計期間（266億28百万円）を196億50百万円（73.8%）下回る69億78百万円となりました。

なお、平成22年3月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信（平成21年7月31日開示）をご参照ください。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、現金及び預金で914億円、たな卸資産で583億円減少した一方で、売上債権で641億円、投資有価証券で348億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ596億円減少の2兆704億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金で61億円、その他有価証券評価差額金で135億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ307億円増加の6,176億円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、経済情勢の変化に合わせて為替レート等前提条件の見直しを行い、また、第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成21年4月28日発表の連結業績予想から一部変更しております。売上高は前回予想と変わらず5兆円となる見込みです。営業利益は前回予想を60億円(10.5%)下回る510億円、経常利益は前回予想と変わらず540億円となり、税引後の当期純利益は前回予想を20億円(8.0%)下回る230億円となる見込みです。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

#### 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準の変更 在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。 この変更は、在外子会社等の重要性に鑑み、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を平均化し、会計期間を通じて発生する損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。 この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,540百万円、営業利益は166百万円、経常利益は210百万円、税金等調整前四半期純利益は207百万円それぞれ増加しております。 なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	151,120	242,537
受取手形及び売掛金	754,727	690,646
たな卸資産	368,082	426,391
その他	104,467	109,693
貸倒引当金	△8,801	△9,141
流動資産合計	1,369,595	1,460,128
固定資産		
有形固定資産	238,754	224,733
無形固定資産		
のれん	95,299	103,423
その他	17,123	15,056
無形固定資産合計	112,422	118,479
投資その他の資産		
投資有価証券	268,160	233,388
その他	101,676	113,335
貸倒引当金	△20,135	△19,975
投資その他の資産合計	349,701	326,747
固定資産合計	700,879	669,961
資産合計	2,070,474	2,130,089

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	548,434	492,678
短期借入金	236,508	331,064
未払法人税等	7,420	12,943
引当金	412	696
その他	165,250	207,706
流動負債合計	958,025	1,045,088
固定負債		
社債	95,000	95,000
長期借入金	347,780	350,008
引当金	20,632	20,277
その他	31,339	32,718
固定負債合計	494,752	498,004
負債合計	1,452,777	1,543,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,367	154,367
利益剰余金	371,250	365,130
自己株式	△7,141	△6,749
株主資本合計	583,412	577,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,652	2,147
繰延ヘッジ損益	4,051	△2,300
為替換算調整勘定	△44,185	△46,613
評価・換算差額等合計	△24,481	△46,766
新株予約権	1,238	1,089
少数株主持分	57,526	54,988
純資産合計	617,696	586,996
負債純資産合計	2,070,474	2,130,089

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	3,889,427	2,279,694
売上原価	3,689,176	2,147,859
売上総利益	200,251	131,835
販売費及び一般管理費	124,507	111,690
営業利益	75,744	20,145
営業外収益		
受取利息	2,555	1,573
受取配当金	9,371	6,868
持分法による投資利益	6,489	2,519
雑収入	6,826	4,421
営業外収益合計	25,243	15,384
営業外費用		
支払利息	9,169	7,172
雑支出	5,117	3,900
営業外費用合計	14,286	11,073
経常利益	86,701	24,455
特別利益		
固定資産売却益	818	150
投資有価証券及び出資金売却益	213	117
貸倒引当金戻入額	2,399	—
持分変動利益	—	1,229
新株予約権戻入益	—	79
特別利益合計	3,431	1,577
特別損失		
固定資産処分損	1,166	408
減損損失	595	31
投資有価証券及び出資金売却損	8	276
投資有価証券及び出資金評価損	1,140	295
関係会社整理損	28	102
事業撤退損失引当金繰入額	471	85
その他	61	13
特別損失合計	3,472	1,213
税金等調整前四半期純利益	86,660	24,819
法人税等	35,103	12,420
少数株主利益	6,064	2,752
四半期純利益	45,492	9,646



(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	1,961,250	1,224,506
売上原価	1,859,042	1,155,692
売上総利益	102,208	68,813
販売費及び一般管理費	62,582	56,116
営業利益	39,625	12,696
営業外収益		
受取利息	1,268	774
受取配当金	4,945	2,375
持分法による投資利益	2,898	1,683
雑収入	3,186	2,524
営業外収益合計	12,299	7,356
営業外費用		
支払利息	4,556	3,408
雑支出	2,448	1,637
営業外費用合計	7,004	5,045
経常利益	44,920	15,007
特別利益		
固定資産売却益	713	54
投資有価証券及び出資金売却益	129	10
貸倒引当金戻入額	218	8
新株予約権戻入益	—	79
特別利益合計	1,062	152
特別損失		
固定資産処分損	995	216
減損損失	—	31
投資有価証券及び出資金売却損	3	104
投資有価証券及び出資金評価損	1,105	51
関係会社整理損	—	102
事業撤退損失引当金繰入額	—	85
その他	47	2
特別損失合計	2,151	594
税金等調整前四半期純利益	43,830	14,566
法人税等	14,036	5,618
少数株主利益	3,165	1,968
四半期純利益	26,628	6,978

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対す る売上高	634,487	392,856	262,080	456,834	95,601	85,759	33,629	1,961,250	—	1,961,250
(2) セグメント間の 内部売上高	94	2,303	7	534	28	484	183	3,636	(3,636)	—
計	634,582	395,159	262,087	457,369	95,629	86,244	33,813	1,964,886	(3,636)	1,961,250
営業利益	11,370	7,671	13,189	4,513	1,516	1,212	159	39,635	(9)	39,625

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対す る売上高	380,637	275,262	142,659	256,879	78,347	67,842	22,877	1,224,506	—	1,224,506
(2) セグメント間の 内部売上高	113	2,805	1	385	26	1,798	2,028	7,158	(7,158)	—
計	380,750	278,067	142,661	257,265	78,373	69,640	24,905	1,231,665	(7,158)	1,224,506
営業利益	4,701	1,668	4,690	483	278	580	292	12,695	1	12,696

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対す る売上高	1,236,252	787,769	504,265	921,652	199,335	172,751	67,400	3,889,427	—	3,889,427
(2) セグメント間の 内部売上高	222	4,700	9	1,131	62	1,082	1,360	8,568	(8,568)	—
計	1,236,475	792,469	504,274	922,783	199,397	173,834	68,761	3,897,996	(8,568)	3,889,427
営業利益	22,831	15,069	23,904	6,468	3,567	3,275	636	75,753	(9)	75,744

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	金属 (百万円)	機械・エ レクトロ ニクス (百万円)	自動車 (百万円)	エネルギ ー・化学 品 (百万円)	食料 (百万円)	生活産 業・資材 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1) 外部顧客に対す る売上高	680,011	516,417	269,835	485,461	157,720	128,674	41,574	2,279,694	—	2,279,694
(2) セグメント間の 内部売上高	214	5,233	4	704	54	1,938	3,717	11,867	(11,867)	—
計	680,226	521,650	269,839	486,166	157,775	130,612	45,291	2,291,562	(11,867)	2,279,694
営業利益又は損失(△)	5,370	2,734	7,556	256	2,897	1,385	△56	20,144	1	20,145

(注) 1. 事業区分の方法：事業区分は、商品の種類・性質により区分しております。

2. 「4.その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の売上高は金属事業で2,489百万円、機械・エレクトロニクス事業で1,509百万円、自動車事業で746百万円、エネルギー・化学品事業で2,812百万円、食料事業で1,272百万円、生活産業・資材事業で328百万円、その他事業で382百万円のそれぞれ増加となっております。また、営業利益は金属事業で55百万円、機械・エレクトロニクス事業で35百万円、自動車事業で48百万円のそれぞれ増加、エネルギー・化学品事業で0百万円の減少、食料事業で22百万円、生活産業・資材事業で7百万円のそれぞれ増加、その他事業で2百万円の減少となっております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア・オ セアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地 域(百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,281,843	371,908	137,587	117,861	52,049	1,961,250	—	1,961,250
(2) セグメント間の 内部売上高	170,206	39,036	40,306	3,102	1,392	254,044	(254,044)	—
計	1,452,050	410,944	177,893	120,964	53,442	2,215,295	(254,044)	1,961,250
営業利益	13,302	11,811	3,405	4,607	5,987	39,113	512	39,625

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア・オ セアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地 域(百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	789,139	244,618	84,713	71,933	34,101	1,224,506	—	1,224,506
(2) セグメント間の 内部売上高	114,551	13,086	23,376	1,507	554	153,077	(153,077)	—
計	903,690	257,705	108,089	73,440	34,656	1,377,583	(153,077)	1,224,506
営業利益	1,009	5,886	1,518	1,952	2,861	13,228	(531)	12,696

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア・オセアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,562,667	695,863	292,527	237,409	100,960	3,889,427	—	3,889,427
(2) セグメント間の 内部売上高	336,608	73,601	77,774	7,354	2,468	497,806	(497,806)	—
計	2,899,275	769,464	370,302	244,764	103,428	4,387,234	(497,806)	3,889,427
営業利益	25,991	20,938	8,696	8,411	11,194	75,232	512	75,744

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア・オセアニア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,474,834	446,966	156,340	136,406	65,147	2,279,694	—	2,279,694
(2) セグメント間の 内部売上高	200,291	23,187	50,898	2,335	970	277,683	(277,683)	—
計	1,675,125	470,153	207,238	138,742	66,117	2,557,378	(277,683)	2,279,694
営業利益	1,865	9,119	2,540	2,196	5,018	20,741	(595)	20,145

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア・オセアニア：中国・台湾・シンガポール・タイ
- (2) 北米：米国
- (3) 欧州：英国・ベルギー・ロシア
- (4) その他の地域：アフリカ・中南米

3. 「4.その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の売上高は「アジア・オセアニア」で4,728百万円、「北米」で5,295百万円のそれぞれ増加、「欧州」で411百万円、「その他の地域」で71百万円のそれぞれ減少となっております。また、営業利益は「アジア・オセアニア」で58百万円、「北米」で69百万円、「欧州」で34百万円、「その他の地域」で4百万円のそれぞれ増加となっております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間において、2,804百万円の剰余金の配当を行っております。

2010年3月期第2四半期連結決算概要

2009年10月30日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

連結経営成績	第2四半期 累計期間	前年同期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	22,796	38,894	▲16,098	▲41%
売上総利益	1,318	2,002	▲684	▲34%
販売費及び一般管理費	1,116	1,245	▲129	—
営業利益	201	757	▲556	▲73%
利息収支	▲55	▲66	11	—
受取配当金	68	93	▲25	—
持分法による投資損益	25	64	▲39	—
その他	5	17	▲12	—
経常利益	244	867	▲623	▲72%
特別損益	3	▲0	3	—
税金等調整前 四半期純利益	248	866	▲618	▲71%
法人税等	124	351	▲227	—
少数株主利益	27	60	▲33	—
四半期純利益	96	454	▲358	▲79%

主な増減要因
<b>【売上高】▲16,098億円</b> 市況の下落及び自動車生産台数減少に伴い、金属、エネルギー・化学品本部を中心に取扱い減少
<b>【売上総利益】▲684億円</b> 売上高減少に伴い、金属、機械・エレクトロニクス、自動車本部を中心に減少
<b>【販売費及び一般管理費】▲129億円</b> 全社的なコスト削減により負担減少
<b>【利息収支】+11億円</b> 国内外の金利低下による改善
<b>【受取配当金】▲25億円</b> 単体及び海外子会社の受取配当金減少
<b>【持分法による投資利益】▲39億円</b> エネルギー・化学品本部の持分法適用会社を中心に減少
<b>【その他営業外損益】▲12億円</b> 主に為替差損益の悪化

※2010年3月期より、在外子会社の外貨換算に期中平均レートをを用いております。

連結財政状態	第2四半期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
総資産	20,704	21,300	▲596	▲3%
(流動資産)	13,695	14,601	▲906	▲6%
(投資有価証券)	2,681	2,333	348	15%
(その他の固定資産)	4,327	4,365	▲38	▲1%
純資産	6,176	5,869	307	5%
有利子負債(NET)	5,483	5,739	▲256	▲4%
D E R (NET)	1.0	1.1	▲0.1	—

主な増減要因
<b>【流動資産】▲906億円</b> ・現預金の減少▲914億円 ・売上債権の増加+641億円 ・たな卸資産の減少▲583億円
<b>【投資有価証券】+348億円</b> ・取得及び時価上昇による増加
<b>【純資産】+307億円</b> ・利益剰余金+61億円 (四半期純利益+96億円、配当金▲28億円等) ・有価証券評価差額金+135億円 ・繰延ヘッジ損益+63億円 ・為替換算調整勘定+25億円

商品本部別 連結売上高・営業利益	第2四半期 累計期間	前年同期	前年同期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く	
					増減額	増減率(%)
※上段:売上高、下段:営業利益						
金属	6,800	12,362	▲5,562	▲367	▲5,195	▲43%
	53	228	▲175	▲13	▲162	▲75%
機械・エレクトロニクス	5,164	7,877	▲2,713	▲410	▲2,303	▲31%
	27	150	▲123	▲9	▲114	▲81%
自動車	2,698	5,042	▲2,344	▲383	▲1,961	▲42%
	75	239	▲164	▲20	▲144	▲66%
エネルギー・化学品	4,854	9,216	▲4,362	▲305	▲4,057	▲46%
	2	64	▲62	▲3	▲59	▲96%
食料	1,577	1,993	▲416	▲91	▲325	▲17%
	28	35	▲7	▲4	▲3	▲8%
生活産業・資材	1,286	1,727	▲441	▲47	▲394	▲23%
	13	32	▲19	▲1	▲18	▲56%
その他	415	674	▲259	▲97	▲162	▲28%
	▲0	6	▲6	0	▲6	▲109%
合計	22,796	38,894	▲16,098	▲1,700	▲14,398	▲39%
	201	757	▲556	▲50	▲506	▲72%

主な増減要因
<b>【売上高】</b> 非鉄・スクラップ市況下落及び自動車生産台数の減少による。 <b>【営業利益】</b> 主に国内及び米国において減少。
<b>【売上高】</b> 機械設備、エレクトロニクス部品取扱い及び海外自動車生産台数減少による。 <b>【営業利益】</b> 主に国内において減少。
<b>【売上高】</b> 輸出取扱台数減少による。 <b>【営業利益】</b> 輸出取扱台数及び海外自動車販売台数の減少による。
<b>【売上高】</b> 原油等の市況下落による。 <b>【営業利益】</b> 原油、化学品、合樹取扱い減少及び豪州石炭PJの利益減少による。
<b>【売上高】</b> 飼料等市況の下落による。 <b>【営業利益】</b> 主に国内及び南米において減少。
<b>【売上高】</b> 内装資材、生活資材及び繊維関連の取扱い減少による。 <b>【営業利益】</b> 主に不動産低価格の影響により減少。

連結業績予想	(修正) 当期予想	前期実績	前期比		(参考)4/28公表 当期予想
			増減額	増減率(%)	
※上段:売上高、下段:営業利益					
金属	14,610	19,422	▲4,812	▲25%	13,840
	202	204	▲2	▲1%	172
機械・エレクトロニクス	11,070	13,550	▲2,480	▲18%	11,300
	63	186	▲123	▲66%	68
自動車	5,540	8,095	▲2,555	▲32%	6,150
	144	368	▲224	▲61%	191
エネルギー・化学品	11,740	13,994	▲2,254	▲16%	11,030
	17	45	▲28	▲62%	1
食料	3,360	3,660	▲300	▲8%	3,370
	70	61	9	13%	63
生活産業・資材	2,950	3,115	▲165	▲5%	3,420
	19	44	▲25	▲57%	84
その他	730	1,030	▲300	▲29%	890
	▲5	▲0	—	—	▲9
全社 売上高	50,000	62,869	▲12,869	▲20%	50,000
営業利益	510	910	▲400	▲44%	570
経常利益	540	983	▲443	▲45%	540
当期純利益	230	402	▲172	▲43%	250

1株当たり 配当金	当期	前期
中間	8円00銭	18円00銭
年間	16円00銭 (予定)	26円00銭
配当性向	24.3%	22.7%

主要指標推移	第2 四半期 累計期間	前年同期	2010年 3月期 (予想)	
				為替 (円/米ドル)
金利	円TIBOR平均	0.6%	0.9%	0.7%
	米ドルLIBOR平均	0.6%	2.8%	0.7%
熱延鋼板(円/トン)		86,000	105,000	86,000
ドバイ原油(米ドル/bbl)		63	115	65
豪州一般炭(米ドル/トン)		69	151	69
シココン(セント/Bushel)		366	604	360